

県図なう。

令和4年12月15日
第141号(毎月15日発行)
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel: 099-224-9511



鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。 鹿児島県立図書館

ホットニュース

【問合せ先】
県立図書館資料課 TEL 099-224-9515

第2回貴重資料紹介展の案内

【貴重資料紹介展】～「近代化を目指す幕末の薩摩」展～

期間：令和4年12月27日(火)～令和5年3月1日(水)

会場：県立図書館1階正面玄関ロビー

【かごしまの歴史文化講演会】

講師：原口 泉 志学館大学教授

日時：令和4年12月24日(土)
13:30～15:25(受付13:00～)

会場：県立図書館1階大研修室

申込み：令和4年12月1日(木)9時から

定員(100人程度+別室視聴30人)に達するまで



島津斉彬



中原猶介



島津久光



五代友厚



島津忠義

図書館で探そう、調べよう!

～児童文化室でのレファレンス事情～

児童文化室のカウンターは一か所ですが、貸出返却と調査相談を担当できるように二人配置になっています。最も多い問合せは、「シリーズものを探しています」というもので、「かいけつゾロリシリーズ(原 ゆたか/さく・え, ポプラ社)」、「がっこうのおぼけずかんシリーズ(齊藤 洋/作, 宮本 えつよし/絵, 講談社)」、「サバイバルシリーズ(朝日新聞出版)」が人気です。県立図書館貸出冊数のランキングでも上位を占めています。「どれもいいからありませんか。」と尋ねられるので、こちらで検索し、貸出可能な本の題名を読み上げると、「それはもう読みました。」や「それはまだ読んでません。借ります。」と即答してくれます。「題名だけでよくわかりますね。」と言いながら、次々と題名を読み進めます。私たちにとって、楽しいひとときです。時には、「学校でも人気のあまり借りることができないから、県図書に来てみました。」と言う子供もいます。そう聞くと、なんとしてでも探さなければ!と思います。

しかし、なかなか見付からない場合もあります。先日も、「昔、見掛けた英語の本を、成長して英語に興味をもち始めた子供に読ませたい。」という相談を受けました。「本を見た時期が2・3年前であること」、「背表紙の色が赤だったこと」、「絵に、英単語や日本語訳、ネイティブな発音(読み方)が記されていたこと」、「やや大きめであること」という多くのヒントをいただきながら、結局、該当の本にたどり着きませんでした。そのような場合は、記録に残して職員で共有し、該当の本が見付かったら、利用者の方にお知らせすることもあります。

利用者の本との出会い、そして本との再会という点で、レファレンスは大切であり、重要な業務です。カウンター業務でバタバタしているときがあるかもしれませんが、ぜひお声掛けいただけたらと思います。

《一般図書》12月13日(火) **新着図書案内** 《児童図書》12月23日(金)

- 『老年の読書』 前田 速夫/著 新潮社
- 『不思議な12の対話』 キム ハナ/著, 清水 知佐子/訳 CCCメディアハウス
- 『子どものデジタル脳完全回復プログラム』 ヴィクトリア・L.ダンクラー/著, 鹿田 昌美/訳 飛鳥新社
- 『日本で力士になるということ』 飯塚 さき/著 ホビージャパン
- 『家づくりのすごい新常識』 佐久間 徹, 白子 秀隆, 杉浦 充/著, ザ・ハウス/編著 エクスナレッジ
- 『めをさませ』 五味 太郎/作 絵本館
- 『季節をめぐる星座のものがたり 春 おおぐま座』 永田 美絵/監修 汐文社
- 『なりたいわたし』 村上 しいこ/作, 北澤 平祐/絵 フレーベル館
- 『正義ってなんだろう 自分の頭で考える力をつける』 齋藤 孝/著 リベラル社, 星雲社(発売)
- 『マスク越しのおはよう』 山本 悦子/著, 田中 海帆/絵 講談社

催し物の御案内

- 一般閲覧室ミニ展示
12月1日(木)～12月28日(水)
「『ことば』に恋する」展
名言・名句, 方言, 手紙, キャッチコピーなど, 世の中にあふれる素敵な「ことば」をたくさん展示します。
- 児童文化室ミニ展示
11月23日(水)～12月22日(木)
「卯年!～十二支とお正月の本たち～」展
来年はうさぎ年です。かわいいうさぎの本の他, お正月や十二支の動物たちが出てくる本を紹介します。
- 12月23日(金)～1月21日(土)
「名作に挑戦!」展
世界と日本の名作&昔話。タイトルは知っていても読んだことのない本があるかもしれません。そんな本をたくさん紹介します。

図書館職員のつぶやき

本に囲まれて働いている私たちですが、普段、私的に読む本について話す機会がありません。せっかく図書館に勤めているのに残念だなあと感じていたのですが、「機会を作ればいいのでは?」と、思い立って休憩場所でもある職員のロッカールームに自分の持っている本の中からおすすめの本を置くことにしました。

私は、装丁がきれいな本など見て楽しめる本が好きなので、「休憩時間でも軽く読める本を!」と、エッセイ漫画や美術館の図録や画集を2冊置いています。

突然、勝手に置き始めた本ですが、みなさんが「読んだよ。面白かった!」と声をかけてくれます。私もおすすめのポイントを熱く語る機会ができて楽しんでいます。他の職員もそっと本を置いてくれるようになりました。“本を通じていろいろな話ができること”。私が図書館に勤めたいと思ったきっかけに立ち返る、楽しい機会になっています。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、マーシャ・ブラウン/絵 せた ていじ/訳の『三びきのやぎのがらがらどん』(福音館書店)です。

この本は、ぼくが保育園生の時に買ってもらった本です。この本のすきなところは、一番大きいのがらがらどんがトルロというかいぶつをたおしたところ。昔はお母さんに読んでもらっていたけど、今はぼくが妹たちに読んであげています。

【家族から】小さい頃から「読んで読んで!」と持ってきた本でした。妹二人も好きな本で、今は私の代わりに読んでくれています。それを見て、微笑ましい気持ちになり、大きくなったなあと思います。



図書館クイズ

にじいろのほん『わすれられないおくりもの』
スーザン・バーレイ/さく え, 小川仁央/やく
(評論社)からのクイズです。

モグラが じょうずに つかえる
どうぐは なにかな?

- ①ハサミ ②えんぴつ ③じょうぎ

ヒント
じゃんけんぽん

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、1月14日(土)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「①じょうぎ」でした。
たくさんのお返事ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
12月	11	12	13	14★	15	16	17◆
	18	19	20	21★	22	23	24
	25	26	27	28★	29	30	31
1月	1	2	3	4★	5	6	7
	8	9	10	11★	12	13	14

- 開館時間 火曜日～土曜：9時～21時
日曜日・祝日(白抜)：9時～17時
- は、休館日
- △ は、学習室と一般閲覧室の新聞・雑誌コーナーのみ(9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分～16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時～)
- ☞ は、県図書ほっとフェス
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(12月13日, 23日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(12月23日)
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更になる可能性があります。